



# 菅代表が再選



民主党大会

## 小沢氏を破る 人事での処遇焦点

民主党代表に再選され拍手を受ける菅首相＝14日午後3時38分、東京都内のホテル

### 民主党代表選開票結果

※敬称略。単位はポイント

	総数	国会議員票	党員・サポーター票	地方議員票
菅 直人	721	412 (206人)	249	60
小沢 一郎	491	400 (200人)	51	40
無効など	10	10 (5人)	—	—
計	1222	822 (411人)	300	100

民主党は14日午後の臨時党大会で、菅直人首相(63)の代表再選を決めた。党所属国会議員と地方議員、党員・サポーターによる投票の結果、小沢一郎前幹事長(68)を破った。開票結果は菅氏721票、小沢氏491票だった。菅政権は継続。首相は近く内閣改造、党

役員人事に踏み切る意向だ。小沢氏を要職に起用するかどうか最大の焦点になる。

代表選では菅、小沢両氏とも選挙後の党分裂を否定する一方、政治手法や経済政策で互いに批判。関係修復は困難との見方が強い。首相は政権運営で「脱小沢」を目指す姿勢を鮮明にしており、小沢氏や同氏を支持した議員の処遇次第で、党内混乱の可能性がある。

菅政権の当面の課題は、円高・株安を受けた経済対策。消費税増税を含む税制抜本改革などの財政再建路線を堅持し、実現に巨額の歳出を伴うマニフェスト(政権公約)の見直しを進める。

政府、与党は9月下旬にも臨時国会を召集する方針。参院で野党が多数を占める「ねじれ国会」を乗り切るため、政策ごとに野党と連携する部分連合を模索する。ただ野党は代表選による民主党内の対立を好機ととらえ、早期の衆院解散を求め政権を揺さぶる構えだ。

菅氏は世論の支持を追い風に地方議員と党員・サポーター票で優位に立ち、激戦を制した。